

障がいのある子どもたちのための
『21st KOBE YMCA International Charity Run 2018』

第21回 神戸 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2018



2018年11月3日(祝・土) しあわせの村 (運動広場およびジョギングコース)
神戸市北区しあわせの村1番1号

9月1日より、受付開始! (締切日10/15)

お申込みはQRコードで
WEBからお願いします。



大会当日、「笑顔のランニング教室」開催

小林祐梨子
1500m 女子日本記録保持者。
北京オリンピック・女子5000m 代表。

種目	1/10 マラソン	こども駅伝	グループラン	1/100 マラソン
対象	中学生以上 100名	男子または女子4名で1チームを編成 混合可。その場合は男子チームに編入 4・5・6年、男女毎に30チーム(注1)	グループで1チームを編成 原則5名以内 もしくは家族で1チームを編成	小学生 50名 中学生以上 50名
距離	4.2195km	第1走者1.6km 第2~4走者1.1km	2.0km	421.95m
方式	タイムレース	タイムレース	着順抽選レース(注2) 制限時間40分	記録会 (表彰なし)
参加費	1名 2,000円	1チーム 2,000円	1チーム 5,000円	参加費 無料

注1: こども駅伝は、男女別・学年別のチーム構成となりますが、男女混合チームの場合は男子のレースに参加できます。また、3年生をチームに入れることもできます。チーム内の最高学年に合わせたレースに出場することを認めます。
注2: 「着順抽選レース」は、40分以内に完走したグループを対象として、レース終了後に抽選を行い、抽選に当たったグループに賞品を贈呈するレースです。障がいを持つ人も持たない人も、みんなで協力しながら一緒に楽しく走ることを目的としていますので、上位入賞者を対象とした賞状・賞品はありません。

■全国協賛
National Sponsors

Mitsubishi Corporation FUJITSU

■プライズスポンサー
Prize Sponsors

CATHAY PACIFIC



主催: 公益財団法人神戸YMCA

共催: ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部、YMCA国際賛助会

後援: 内閣府、厚生労働省、(福) 全国社会福祉協議会、兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、明石市教育委員会、(一社) 神戸青年会議所、国際ロータリー第2680地区、ライオンズクラブ国際協会335-A地区、(社福) 神戸市社会福祉協議会、(公財) こうべ市民福祉振興協会、(株) 神戸新聞社、(株) サンテレビジョン、兵庫体育・スポーツ科学学会、NHK神戸放送局、神戸商工会議所、神戸市PTA協議会、(公財) 神戸市スポーツ教育協会 (敬称略、順不同、後援申請中を含む)

神戸YMCA

公益財団法人 神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11 Tel 078-241-7201 Fax 078-241-7479



チャリティーランって？

YMCA インターナショナル・チャリティーランは、集まった支援金で「日本中の障がいのある子どもたちがYMCAの夏のキャンプに参加できるように！」との願いから、1987年に東京で始められました。

神戸YMCAチャリティーランの目的

- ① YMCAが主催・共催する障がい児・者プログラムを支援し、「共に生きる」社会をめざします。
- ② 神戸YMCAに関わる多くのボランティアやメンバーが協働し、交流を通して「心のふれあい」を促進します。
- ③ 広く市民に参加を呼びかけ、ボランティアによる運営を大切に、「ボランティアの心」を育てます。

大会委員長あいさつ



全国大会委員長
有森 裕子

私たちは災害や紛争で困難の中にある人たちのニュースを耳にすると、たとえ世界の果てであっても飛んでいって「とにかく力にならなくては」という強い思いにかられます。しかし、なぜかすぐ近くで悩んでいる人の苦しみには気づかず手遅れになってしまうことがままあります。「誰かのためになりたい」「ボランティアをやってみよう」「社会のためになることをやってみよう」と思っているなら、TVやインターネットに向かうだけでなく周囲を見渡してみてください。あなたの助けを待っている人はいつもすぐ近くにいます。

YMCA インターナショナル・チャリティーランは障がいのある子どもたちを応援するイベントです。障がいのある人もない人も共に走り、支えあうことで障がいのある子どもたちが幸せに生きていくための理解と共感の浸透を広げることをミッションとし、全国で開催しています。私たちがめざすのは障がいのある人もない人もすべての人たちが共に幸せに暮らすことができる社会です。社会を変えていくためには多くの人の力が必要です。どうかあなたの力を貸してください。

※有森委員長は、当日参加できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

実行委員長あいさつ



実行委員長
美崎 晋

「あなたの笑顔がみんなの笑顔に！」

第21回神戸YMCAインターナショナルチャリティーランが、今年も11月3日の文化の日に「しあわせの村」で開催されます。各地でのマラソン大会は抽選が必要ほどの人気で、大変なランニングブームとなっています。しかしながらチャリティーランはそれらの大会とは少し趣を異にします。

ただタイムを競う、順位を競うという大会ではありません。チャリティーランは心身に障がいのある子どもたちを応援するイベントで、皆さんからのご支援はこのよう子どもたちのプログラムに役立させていただきます。

私は、毎回の大会にあたって「笑顔」という言葉をキーワードにしてありますが、今年も例年通り変わらず「笑顔」をキーワードに、参加する皆さんの笑顔が溢れる大会にしたいと思います。駅伝、1/10マラソン、1/100マラソン、グループランとバラエティーに富んだ種目があります。特に今年は駅伝部門で、従来の「小学生駅伝」を「こども駅伝」という名称に変え、学校単位のチームのみではなく、学校の枠を超えた仲良しグループ、クラブチームなど幅広いチーム形態で、たくさんの方が参加しやすくなっております。是非、多くの方々に参加していただき、たくさん笑顔を見せていただきたいのです。笑顔こそが障がいのある人もない人も「共に生きる」力になります。共に走り共に生きる。さあ、今年も笑顔でしあわせの村を駆け抜けましょう！

申込方法

- ① お申込みは、QRコードで、WEBからお願いします。
- ② 参加費・協賛金は郵便局でお振り込みいただくか、神戸YMCAまでご持参ください。



口座番号	00950-0-128247
加入者名	神戸YMCAチャリティーラン事務局

※お振込の場合は、郵便振替の受領書をもって領収書にかえさせていただきます。

※申込締切は、10月15日(月)です。

※本プログラム中止の場合、大会の趣旨(参加費が支援金)から参加費・協賛金の払い戻しはいたしません。また、キャンセルされた場合も返金できませんのであらかじめご了承ください。

神戸YMCAチャリティーラン事務局

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-1 1
神戸YMCA本部事務局内
TEL 078-241-7201 FAX 078-241-7479

注意事項

- ① 参加条件：障がい者、健康者を問わずご参加いただけます。ただし、障がいの程度によっては、伴走者と一緒にご参加ください。
- ② 健康管理：参加ランナーの事故については、大会主催者がかける傷害保険を適用いたします。参加に際しては、健康管理に充分ご留意ください。
- ③ 大雨や台風の場合：原則として「雨天決行」といたしますが、大雨や台風などの影響により開催が困難な場合は、当日朝7:00に決定いたします。お手数ですが、神戸YMCAホームページ(<http://www.kobeymca.org/c-run>)をご確認いただくか、チャリティーラン事務局までお電話にてお問い合わせください。なお中止の場合、順延はいたしません。また大会の趣旨(参加費が支援金となります)により、参加費の返金はいたしませんのでご了承ください。

※こども駅伝の参加費は、当日お支払いいただけます。

※各種目参加の障がい児(者)の参加費は無料となります。インターネット申込の備考欄に「障がい児(者)チーム」とご記入ください。

※学年混合で参加の場合は、上の学年の部門でご参加ください。

※やむを得ない事情によって男女混合となるチームは「男子」で申し込んでください。

※こども駅伝の表彰式は、13:30(予定)よりトラック内フィールドにて行います。1/10マラソン、グループランは、全レース終了後14:00(予定)にフィールド内にて行います。

※参加者全員に参加賞があります。賞品・賞状は、第1位~3位。

※グループランの「着順抽選レース」は、40分以内に完走したグループを対象として、レース終了後に抽選を行います。抽選に当たったグループに賞品を贈呈いたします。

みんなで楽しく走ることを目的としていますので、上位入賞者を対象とした賞状、賞品はありません。ベストコスチューム賞などほかにも楽しい賞があります。

※1/10、1/100マラソンとは、42.195kmの1/10、1/100を全力で走ったタイムを10倍、100倍して、マラソンの世界記録と比べることでマラソンの速さを感じることができます。

※大会出場中の映像、写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権・著作権は主催者および企画運営者に属します。また、マスコミ等のメディアの取材が行われる場合があります。